

OPERA
PALACE

Tokyo
オペラパレス

オペラパレスへようこそ

2010/2011 SEASON OPERA

ジュゼッペ・ヴェルディ

【全3幕／イタリア語上演／字幕付】

2011年 **2/14** [月] 6:30 **17** [木] 2:00 **20** [日] 2:00 **23** [水] 7:00 **26** [土] 2:00

椿姫

Giuseppe Verdi

LA TRAVIATA



2007/2008シーズン公演より Stage Photo : Saegusa Chikashi



新国立劇場

オペラパレス — OPERA PALACE

2010 / 2011 シーズン・特別支援企業グループ

◆ 住友化学 人 TBS TOYOTA ぴあ

ボックスオフィス

03-5352-9999

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>



広上 淳一



パトリツィア・チョーフィ



ウーキュン・キム



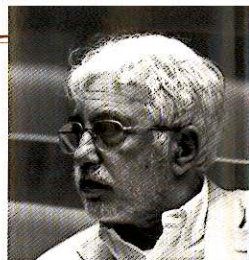
ルチオ・ガッロ



小野 和歌子



樋口 達哉



ルーカ・ロンコーニ



小林 由樹



東原 貞彦



鹿野 由之



渡辺 敦子

指揮：広上 淳一

Conductor : Hirokami Junichi

演出：ルーカ・ロンコーニ

Production : Luca Ronconi

装置：マルゲリータ・パッリ

Set Design : Margherita Palli

衣裳：カルロ・マリア・ディアッピ

Costume Design : Carlo Maria Diappi

照明：セルジオ・ロッシ

Lighting Design : Sergio Rossi

振付：ティツィアーナ・コロンボ

Choreographer : Tiziana Colombo

再演出：三浦 安浩

Revival Director : Miura Yasuhiro

舞台監督：斉藤 美穂

Stage Manager : Saito Miho

ヴィオレッタ：

パトリツィア・チョーフィ

Violetta Valéry : Patrizia Ciofi

アルフレード：ウーキュン・キム

Alfredo Germont : Woo-Kyung Kim

ジェルモン：ルチオ・ガッロ

Giorgio Germont : Lucio Gallo

フローラ：小野 和歌子

Flora Bervoix : Ono Wakako

ガストン子爵：樋口 達哉

Visconte Gastone : Higuchi Tatsuya

ドゥフォーール男爵：小林 由樹

Barone Douphol : Kobayashi Yoshiki

ドビニー侯爵：東原 貞彦

Marchese D'Obigny : Higashihara Sadahiko

医師グランヴィル：鹿野 由之

Dottor Grenvil : Shikano Yoshiyuki

アンニーナ：渡辺 敦子

Annina : Watanabe Atsuko

ジュゼッペ：竹内 公一

Giuseppe : Takeuchi Koichi

使者：黒田 諭

Commissionario : Kuroda Satoshi

フローラの召使い：佐藤 勝司

Domestico di Flora : Sato Shoji

合唱指揮：三澤洋史

Chorus Master : Misawa Hirofumi

合唱：新国立劇場合唱団

Chorus : New National Theatre Chorus

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra : Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督：尾高 忠明

Artistic Director : Otaka Tadaaki

やむを得ない事情により出演者等が変更になる
場合がございます。あらかじめご了承ください。



2007/2008シーズン公演より Stage Photo : Saegusa Chikashi

イタリアオペラの醍醐味

新国立劇場オペラ芸術監督 尾高 忠明

世界中で最も上演されているオペラのひとつ「椿姫」。まさに名作中の名作です。このような良い意味でのスタンダードな作品を軽んじる傾向があるのは実に悲しいことです。この作品の素晴らしさこそオペラの核心の一つです。

今回の指揮は、広上淳一が満を持しての新国立劇場初登場です。わが国指揮界の中で最も私が尊敬している一人です。主役には欧米の歌劇場で人気実力とも評価が高まる気鋭の二人が新国立劇場に初登場です。ヴィオレッタ役は同役で定評のあるイタリアのパトリツィア・チョーフィ、アルフレード役は韓国出身のウーキュン・キムを配します。このようなアジア（勿論日本も）の力を大事にしていきたいと思っています。4度目の登場となるルチオ・ガッロもジェルモン役で出演、彼らの歌心の饗宴を存分に味わっていただきたいと思います。イタリアを代表するオペラ演出家ルーカ・ロンコーニによる綿密な心理描写と美しく知的な舞台と相俟って、皆様を悲劇的感動の世界へと引き込んでゆくことでしよう。

【あらすじ】パリの高級娼婦ヴィオレッタは、富豪の息子アルフレードからの求愛にためらいながらも、真摯な愛に心を開く。2人は郊外で一緒に暮らす、アルフレードの父ジェルモンがヴィオレッタを訪れ、自分の娘の縁談のためにもこのスキャンダラスな関係を終わらせるよう頼む。ヴィオレッタは涙をのんで身を引く。これを裏切りととらえたアルフレードは夜会で彼女を罵倒するが、やがて誤解と分かった時は既に遅く、再会に喜ぶヴィオレッタは病床で愛するアルフレードの腕に抱かれ息絶える。

社交界の華と純朴な青年の儚い純愛。純愛オペラの決定版！

ヴェルディ中期の数々の名作の中でも、世界中のオペラハウスで不動の人気を誇る、観る者の涙を誘う傑作。

華やかなパリ社交界を舞台に、高級娼婦ヴィオレッタの純愛と哀しい運命が、繊細で美しい旋律で彩られています。

有名な「乾杯の歌」、ヴィオレッタのアリア「あそはかの人か〜花から花へ」をはじめ、聴きどころも全編にちりばめられています。

ダイナミックな指揮で国際的に活躍する広上淳一、イタリアの美貌の歌姫チョーフィが得意のヴィオレッタ役で新国立劇場デビューを飾ります。



いまでも、強く人の心に訴える 純粋愛の物語

石戸谷 結子（音楽評論家）

「椿姫」の原題は「ラ・トラヴィアータ」「道を踏み外した女」という意味だ。ヒロインのヴィオレッタはパリの裏社交界で持て囃される、いわば日陰の女。夜ごと夜会に明け暮れる彼女の前に現れたのが、純真な青年アルフレードだった。その真摯な愛に心動かれ、華やかな生活を捨てて彼との愛だけに生きようとする。しかしその時すでにヴィオレッタは、不治の病におかされていたのだ…。

1852年、パリに滞在していたヴェルディは、評判になっていたデュマフィスの芝居「椿を持つ女」を観て、すぐオペラ化を思い立つ。40歳の壮年期を迎えたヴェルディは、当時としては珍しい高級娼婦を主人公にした現代劇に、革新的な音楽要素を注ぎ込み、感動的な旋律に彩られた傑作を完成させたのだ。

ヴェルディをも魅了したヴィオレッタという女性のモデルとなったのは、じつは実在の人物。マリー・デュプレシと名乗る彼女は、背が高くほっそりとした色白の美女で、劇場に現れるときは、いつも白い椿の花束をかかえていたという。20歳のデュマは、ある日マリーに出逢って恋に落ち、悲恋に終わった体験を小説にしたのだ。愛する人のため、死を決意して身を引き、はかない命を散らせたヴィオレッタの純粋愛の物語は、いまでも、私たちの心に強く訴えかけてくる。

今回のプロダクションは、ルーカ・ロンコーニによる評判の演出。光と陰を巧みに使い、登場人物の心理にまで踏み込んだ、美しい様式美に彩られた舞台だ。歌手では最も注目されるのが、ヴィオレッタを歌うパトリツィア・チョーフィ。新国立劇場初登場となる彼女は、スカラ座を始め世界各地でヴィオレッタを歌い、絶賛される美人ソプラノ。深い歌唱と演技力にも定評がある。アルフレードを歌うのが、ソウル生まれのウーキュン・キム。欧米で大活躍する期待の若手リリック・テノールだ。ジェルモン役は近年特に強烈な個性を発揮しているバリトン、ルチオ・ガッロ。広上淳一の情熱的な指揮にもぜひ期待したい。



主要スタッフ・キャスト プロフィール

指揮：広上 淳一

東京音楽大学指揮科に学ぶ。第1回キリル・コンドラシン国際指揮者コンクールに優勝し、国際的な活動を開始。ノール・ショピング響首席指揮者、日本フィル正指揮者、リンブルク響首席指揮者、コロンバス響音楽監督を歴任する傍らフランス国立管、ベルリン放送響、ウィーン響など欧米各地で客演。またオペラの分野でも、シドニー歌劇場における公演が高く評価されたのははじめ、国内外で活躍。08年から京都市交響楽団常任指揮者。新国立劇場初登場。

演出：ルーカ・ロンコーニ

チュニジア生まれ。ローマで演劇を学んだ後俳優として活躍。63年演出家に転身、斬新な作品を次々と発表し、鬼才演出家として名を成す。67年トリノのテアトロ・レジーオでオネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」などを手掛けてオペラの演出に進出。ルキーノ・ヴィスコンティたちの後を受けた第二世代として独自の世界観と美学を以って、イタリアを中心に世界の主要歌劇場で活躍。

ヴィオレッタ：

パトリツィア・チョーフィ

イタリア・シエナ生まれ。これまでにミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、パリオペラ座、パリ・シャトレ座、フェニーチェ歌劇場などに出演。「椿姫」ヴィオレッタ、「ルチア」タイトルロール、「リゴレット」ジルダ、「フィガロの結婚」スザンナ、「ボッペアの戴冠」タイトルロールなどを歌っている。新国立劇場初登場。

アルフレード：

ウーキュン・キム

ソウル生まれ。2003/2004シーズンよりザクセン州立歌劇場の専属歌手。バイエルン州立歌劇場、ハンブルク州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、メトロポリタン歌劇場などに出演。「魔笛」タミーノ、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「椿姫」アルフレードなどをレパートリーとする。新国立劇場初登場。

ジェルモン：ルチオ・ガッロ

イタリア・タラント生まれ。これまでにウィーン国立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、メトロポリタン歌劇場などに出演。「マクベス」タイトルロール、「オテロ」イアーゴ、「トスカ」スカルピアなどをレパートリーとする。新国立劇場では「西部の娘」ジャック・ランス、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「オテロ」イアーゴに出演している。

